

平成25年5月24日

生駒市長 山下 真 様

生駒市議会公明党
下村 晴意
恵比須 幹夫
成田 智樹

風疹予防ワクチン接種費用の公費助成を求める要望書

風疹の患者数が、今年に入ってから5月12日までに6725人に上り、すでに昨年1年間の患者数(2392人)の3倍近くになっていることが、国立感染症研究所のまとめにより判明しました。患者の多くはワクチンの定期接種の対象外で、接種率が低い20代から40代の男性及び20代の女性であり、都市部での感染が目立っていますが、風疹の流行期は春から夏にかけてであり、今後も増加が見込まれています。

成人が感染しても重症化することはほとんどありませんが、妊婦が感染した場合には胎児に障がい「先天性風疹症候群(CRS)」が出る恐れがあり、同研究所は、すでに昨年10月からの約半年で、大流行のあった2004年の1年間と同数の10人がCRSに感染したと報告し、深刻な事態となっています。

対策として、東京都では3月14日に妊娠を予定または希望する19歳以上の女性や妊娠している女性の夫に対して、ワクチン接種費用を補助することを決定しました。また、神奈川県では緊急対策として予防接種費用を助成する市町村への支援を開始しています。

そして、船橋市では予防接種費用の一部助成を実施しており、助成上限額は単独ワクチンで4000円、混合ワクチンで6000円となっています。

「関西一魅力的な住宅都市」を目指す本市においても、いつでも安全、いつまでも安心して暮らせるまち、安心して子どもを産み育てられるまちを維持するため、下記の項目について、早急に取組まれるよう要望いたします。

記

- 1 風疹予防ワクチン接種の推進及び接種費用の公費助成制度を導入すること。
- 1 感染拡大防止のため、ホームページ、広報等による情報提供に努めること。

以上